

本日の講習会の目的

各施設において、届出情報の登録・提出には負担がかかっており、届出されたデータにエラーがあると、確認・修正・再提出などさらに負担が増えてしまいます。

エラーが減り、届出がより円滑に進められるよう、届出情報の正しい入力内容について説明します。

令和6年度 全国がん登録届出票作成講習会

届出エラーのフィードバック

宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室

内容

1. エラーが発生するタイミング

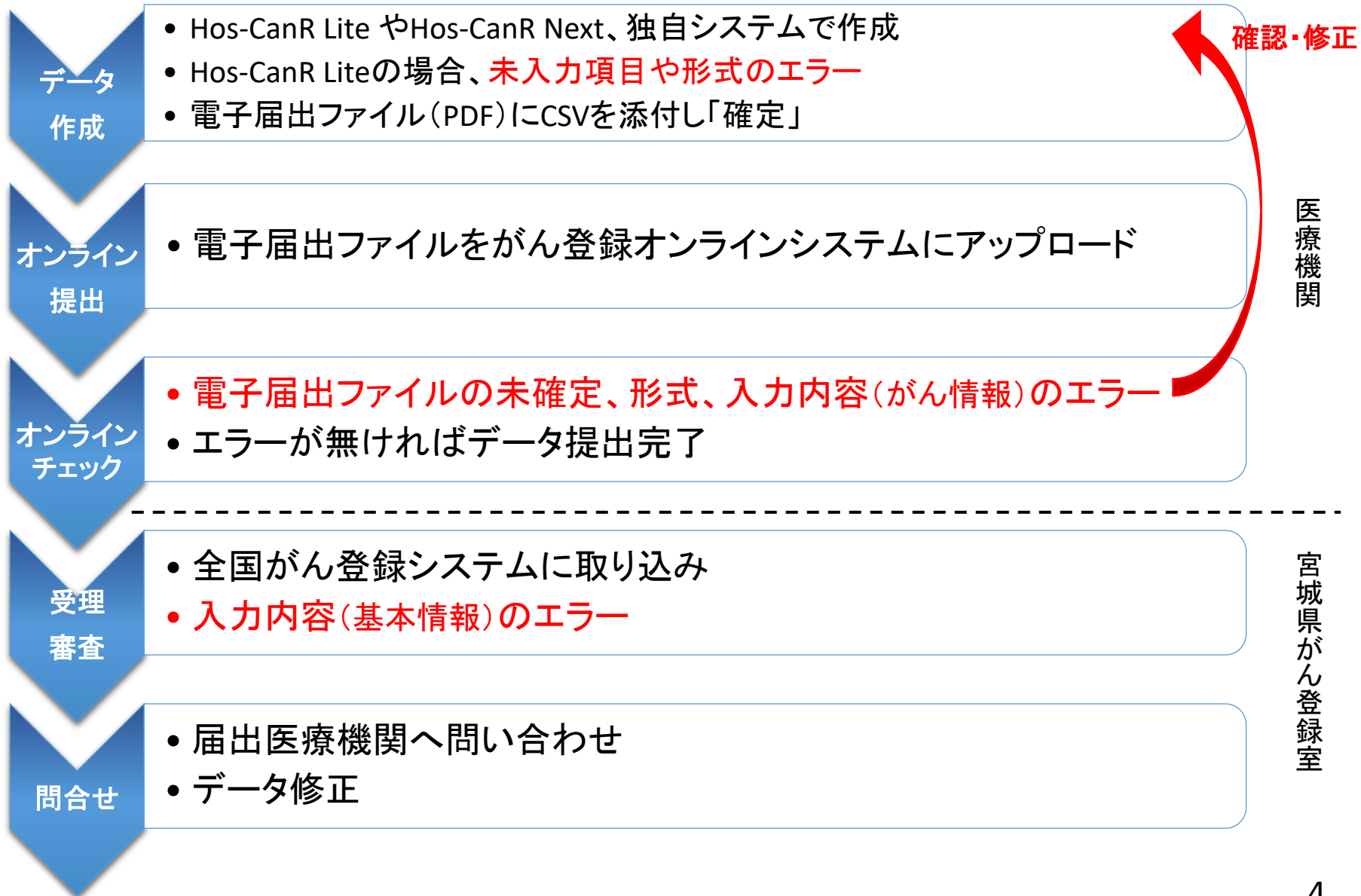
- CSV添付施設
- PDF直接入力施設

2. 届出エラーの種類

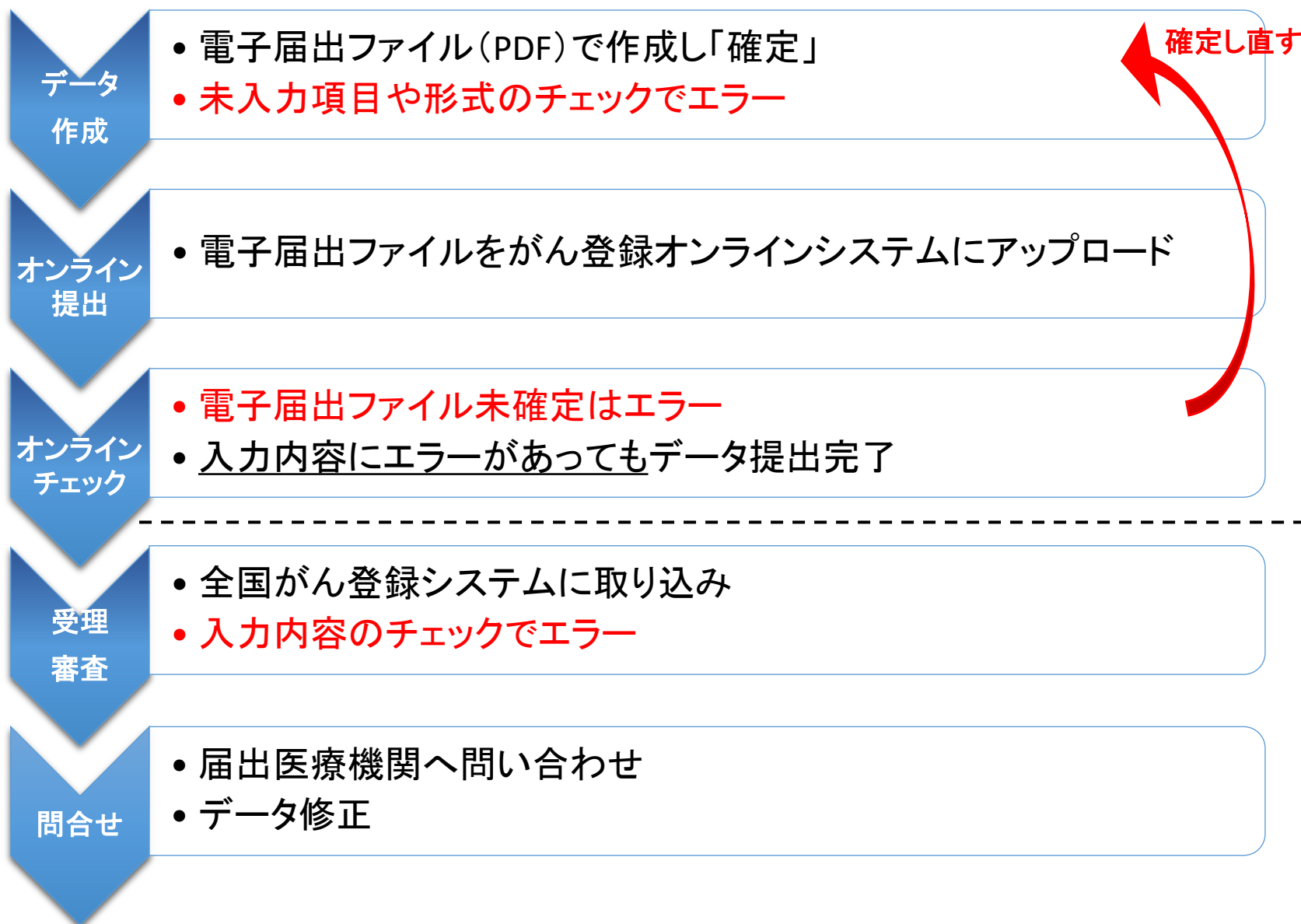
3. エラーの具体例

4. エラーを減らすためのパターン化できる 入力の組み合わせ

1. エラーが発生するタイミング CSV添付施設



1. エラーが発生するタイミング PDF直接入力施設



医療機関

宮城県がん登録室

2. 届出エラーの種類

➤ 形式エラー

- ・既定の形式に合っていない
- ・電子届出ファイルの未確定 など

➤ 入力内容のエラー

- ・単項目(1つの項目)

例) 診断時住所の一部抜け、漢字変換間違い

- | | |
|---------------|--------------------|
| × 涌谷町字一本杉 | → ○ 涌谷町涌谷字一本杉 |
| × 仙台市青葉区本町1-1 | → ○ 仙台市青葉区本町1丁目1-1 |
| × 大崎市古川西館 | → ○ 大崎市古川西館 |

- ・複数項目の組み合わせによる矛盾

例) 側性と原発部位

進展度・術後病理学的と観血的治療の範囲

観血的治療の範囲と観血的治療の有無

診断根拠と病理診断 など

3. エラーの具体例

形式エラー よくある間違い

CSV添付施設
が該当



カナ氏名・氏名の不要な空白

Hos-CanR Lite 入力画面

診療録番号	99	
重複番号(Hos-CanR Lite管理項目)	1 ※同一患者で複数回利用する場合は、この番号を重複して入力してください。	
カナ氏名	シ： ナトリ (全角カナ10文字以内)	メイ： タロウ (全角カナ10文字以内)
氏名	氏： 名取 (全角10文字以内)	名： 太郎 (全角10文字以内)
性別	(1) 男性 ▼	
生年月日	1987/10/02	

文字入力の後に
スペースキーを押さないで！

届出

エラー

そくせい
側性 よくある間違い

例 1) 原発不明癌



腫瘍の種別	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☐ 7. 側性なし ☒ 9. 不明				
	⑨原発部位	大分類	その他 ▼				
		詳細分類	原発部位不明 ▼				
			C80.9				

例 2) 皮膚癌(鼻)



腫瘍の種別	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明				
	⑨原発部位	大分類	皮膚 ▼				
		詳細分類	顔面の皮膚その他 ▼				
			C44.3				

次のスライドで定義をおさらいしましょう

1.右 2.左 3.両側 7.側性なし 9.不明

- カルテに左右の記載があっても、そのまま側性を選択しないよう注意！
- 側性のある臓器・ない臓器のルールに従う

ポイント

全国がん登録みやぎの手引き【実践編】9、10ページまたは届出マニュアル31ページで、どれに当てはまるかを確認

1.右側 2.左側
9.不明
を選択できるのは
この臓器のみ

3.両側 を
選択できるのは
この3つの場合のみ

上記の臓器以外は
7.側性なし

臓器の側性コード

1) 側性のある臓器一覧

ICD-O-3 局在コード	局在の和名	ICD-O-3 局在コード	局在の和名
C07.9	耳下腺	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚
C08.0	顎下腺	C44.5	体幹の皮膚
C08.1	舌下腺	C44.6	上肢及び肩の皮膚
C09.0	扁桃窩	C44.7	下肢及び股関節部の皮膚
C09.1	扁桃口蓋弓	C47.1	上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系
C09.8	扁桃の境界部病巣	C47.2	下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系
C09.9	扁桃, NOS	C49.1	上肢及び肩の結合組織, 皮下組織及びその他の軟部組織
C30.0	鼻腔 (鼻, NOS C76.0 を除く)	C49.2	下肢及び股関節部の結合組織, 皮下組織及びその他の軟部組織
C30.1	中耳	C50.0- C50.9	乳房 (乳房の皮膚 C44.5 を除く)
C31.0	上顎洞	C56.9	卵巣
C31.2	前頭洞	C57.0	卵管
C34.0	主気管支	C62.0- C62.9	精巣
C34.1- C34.9	肺	C63.0	精巣上体
C38.4	胸膜, NOS	C63.1	精索
C40.0	上肢の長骨, 肩甲骨及びその関節	C64.9	腎, NOS
C40.1	上肢の短骨及びその関節	C65.9	腎盂
C40.2	下肢の長骨及びその関節	C66.9	尿管
C40.3	下肢の短骨	C69.0- C69.9	眼及び付属器
C41.3	肋骨, 胸骨, 鎖骨及びその関節	C74.0- C74.9	副腎
C41.4	骨盤骨, 仙骨, 尾骨及びその関節	C75.4	頸動脈小体
C44.1	眼瞼の皮膚		
C44.2	耳および外耳道の皮膚		

2) 側性のある場合の側性コード

コード	側性の詳細
1	右側
2	左側
3	両側 次の場合に限る: 両側卵巣に発生した同じ組織形態の卵巣腫瘍 両側腎臓に発生した腎芽腫(ウィルムス腫瘍) 両側網膜に発生した網膜芽細胞腫
9	不明 (側性のある臓器で左右が不明な場合, 原発が正中に位置する場合)

3) 側性のない場合の側性コード

コード	側性の詳細
7	1)側性のある臓器一覧に該当しない場合 (原発部位不明(C80.9)の場合も適用)

そくせい
側性 正解

原発不明 は必ず「7.側性なし」

例 1) 原発不明癌

腫瘍の種別	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明				
	⑨原発部位	大分類	その他				
		詳細分類	原発部位不明				
			C80.9				

側性のある臓器は、
右、左、不明 のいずれかを選択

例 2) 皮膚癌(鼻)

腫瘍の種別	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☐ 7. 側性なし ☒ 9. 不明				
	⑨原発部位	大分類	皮膚				
		詳細分類	顔面の皮膚その他				
			C44.3				

進展度・術後病理学的 よくある間違い

例) 胃癌の患者。自施設で手術は行わず他施設へ紹介。

進行度	⑯進展度・治療前		☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
			☐ 440. 遠隔転移	☐ 777. 該当せず	☒ 499. 不明	
初回	⑰進展度・術後病理学的		☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
			☐ 440. 遠隔転移	☐ 660. 手術なし・術前治療後	☐ 777. 該当せず	☒ 499. 不明
	観血的治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☒ 6. 観血的治療なし	☐ 9. 不明

次のスライドで定義をおさらいしましょう

⑪ 進展度・術後病理学的

マニュアル
21～23、43ページ

進展度・治療前の情報に、手術結果（病理診断）により得られた知見を補足、修正したもの。

自施設で、がんの縮小・切除のために手術を行った場合



⑪ 進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
	☐ 440. 遠隔転移	☐ 660. 手術なし・術前治療後	☐ 777. 該当せず	☐ 499. 不明

- 病理診断結果の情報をもとに選ぶ。
- 複数の区分に該当する情報がある場合、より進んでいる方を選ぶ。
- 判断に疑いの余地がある場合、より進展度の低い方を選ぶ。
- 手術をしたが、がんの進み具合が判断できない場合や、手術の結果、原発巣が不明な場合は「499.不明」を選ぶ。

⑪ 進展度・術後病理学的

マニュアル
21～23、43ページ

- **自施設で手術を行っていない場合**
バイパス術などががんの縮小・切除を目的としない手術は、「手術を行っていない」扱いになる。
- **術前治療後**
手術の前に初回の治療が開始された場合

⑪ 進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
	☐ 440. 遠隔転移	☐ 660. 手術なし・術前治療後	☐ 777. 該当せず	☐ 499. 不明

白血病、多発性骨髄腫（局在コードが血液 骨髄 C42.0 又はC42.1）の場合

進展度・術後病理学的 正解

例) 胃癌の患者。自施設で手術は行わず他施設へ紹介。

進行度	⑯進展度・治療前		☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
			☐ 440. 遠隔転移	☐ 777. 該当せず	☒ 499. 不明	
初回	観血的治療	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内	☐ 410. 限局	☐ 420. 領域リンパ節転移	☐ 430. 隣接臓器浸潤
			☐ 440. 遠隔転移	☒ 660. 手術なし・術前治療後	☐ 777. 該当せず	☐ 499. 不明
		⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☒ 6. 観血的治療なし	☐ 9. 不明

- ・自施設で手術を行っていない場合は 660.手術なし
- ・他施設で行った手術の進展度は反映しない。

観血的治療の範囲 よくある間違い

例) 自施設でがんと診断。経過観察のみ行った。

初回治療	観血的治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☐ 6. 観血的治療なし ☒ 9. 不明
	その他治療	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明

次のスライドで定義をおさらいしましょう

⑮ 外科的治療の有無～⑳ 内視鏡的治療の有無

㉑ 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲 (観血的治療の範囲)

マニュアル
44～47ページ

自施設で、がんの縮小・切除のために手術を行った場合



初回	観血的治療	⑮外科的	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		⑯鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉑内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉒観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☐ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明



⑮外科的 ～ ㉑内視鏡的のいずれかを行った結果、がんが体内に残っているかどうかで選ぶ。

⑮ 外科的治療の有無～⑳ 内視鏡的治療の有無

㉑ 外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲 (観血的治療の範囲)

マニュアル
44～47ページ

自施設で手術を行っていない場合

バイパス術などがんの縮小・切除を目的としない手術も、
「手術を行っていない」扱いになる。



初回	観血的治療	⑮外科的	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の	9は使用しない
		⑯鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		⑰内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☐ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明	
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☒ 6. 観血的治療なし	☐ 9. 不明



自施設で手術を行わない場合、すなわち
⑮外科的 ～ ⑰内視鏡的のいずれも 2 の場合は、
必ず「6.観血的治療なし」を選ぶ。

観血的治療の範囲 正解

例) 自施設でがんと診断。経過観察のみ行った。

初回治療	観血的治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし	☐ 4. 腫瘍遺残あり	☒ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	その他治療	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明
		㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行	☒ 2. 自施設で施行なし	☐ 9. 施行の有無不明

・自施設で手術を行わない場合は、必ず「6.観血的治療なし」

病理診断 よくある間違い

例) 他施設で直腸癌と診断され化学療法を施行。

紹介状に「腺癌」と記載があるが、何の検査で診断されたのかは情報なし。

自施設を紹介受診し、画像検査にて経過観察を行った。

腫瘍の種類	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門	
		詳細分類	直腸	
	⑩病理診断	組織型・性状	腺癌	
診断情報	⑪診断施設		☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断	
	⑫治療施設		☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他	
	⑬診断根拠		☐ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☒ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明	

次のスライドで定義をおさらいしましょう

⑬ 診断根拠

マニュアル
39ページ

区分		説明	備考
1	原発巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	顕微鏡学的(病理学的)診断 ＝直接がん細胞を確認 できるもの 
2	転移巣の 組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	
3	細胞診陽性	病理組織診ではがんの診断が無く、 細胞診によるがんの診断	
4	部位特異的 腫瘍マーカー	・ 肝細胞癌でのAFP高値 ・ 絨毛癌でのHCG高値 ・ 神経芽細胞腫でのVMA高値 ・ ワルデンストレームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値	顕微鏡学的(病理学的)診断 ではない ＝直接がん細胞を確認 できないもの   
5	臨床検査	上記以外の腫瘍マーカー、画像診断(CT、MRI、エコー、X線、PET)、内視鏡・手術の所見等	
6	臨床診断	1～5以外の検査(視診や触診での診断)	
9	不明	がんと診断された検査が不明な場合(他院での診断で情報が無い場合等)	

自施設・他施設に関わらず、**全経過**を通じて「当該がん」の診断の根拠を選ぶ

⑩ 病理診断

マニュアル
36ページ

腫瘍情報

診断根拠が顕微鏡的(病理学的)診断でない時に用いてよい形態コード

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍, NOS※	9350	頭蓋咽頭腫
8150	膵内分泌腫瘍	9380	グリオーマ
8151	インスリノーマ	9384/1	上皮下巨細胞性アストロサイト
8152	腸グルカゴン腫瘍	9500	神経芽腫〈神経芽細胞腫〉
8153	ガストリノーマ	9510	網膜芽腫〈網膜芽細胞腫〉
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9530	髄膜腫, NOS
8160/3	胆管細胞癌※※	9531	髄膜皮性髄膜腫
8170	肝細胞癌	9532	線維性髄膜腫
8270	嫌色素性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9533	砂粒腫性髄膜腫
8271	プロラクチノーマ(下垂体腫瘍)	9534	血管腫性髄膜腫
8272	下垂体腺腫/癌, NOS	9535	血管芽腫性髄膜腫
8280	好酸性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9537	移行型髄膜腫
8281	好酸性・好塩基性混合腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9538	明細胞髄膜腫/乳頭状髄膜腫
8720	黒色腫(眼又は皮膚に原発の場合)	9539	異型髄膜腫
8800	肉腫, NOS	9590	リンパ腫
8960	腎芽腫	9732	多発性骨髄腫
9100	絨毛癌	9761	ワルデンストレームマクログロブリン血症
9140	カボジ肉腫	9800	白血病, NOS

※ NOS Not Otherwise Specified 他に何らの説明や記載のないもの、詳細不明

※※ 日本独自ルール

⑬ 診断根拠 が

- 4. 部位特異的腫瘍マーカー
- 5. 臨床検査
- 6. 臨床診断
- 9. 不明

の場合に選ぶ病理診断の一覧

「腺癌」は一覧表にないため、
診断根拠が4、5、6、9の場合は
この表にある病理診断から選ぶ。

病理診断 正解

例) 他施設で直腸癌と診断され化学療法を施行。

紹介状に「腺癌」と記載があるが、何の検査で診断されたのかは情報なし。

自施設を紹介受診し、画像検査にて経過観察を行った。

腫瘍の種類	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門	
		詳細分類	直腸	
		⑩病理診断	組織型・性状	悪性腫瘍
診断情報	⑪診断施設		☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断	
	⑫治療施設		☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他	
	⑬診断根拠		☐ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☒ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明	

「腺癌」は顕微鏡学的診断(診断根拠が1～3)の場合に選択するもの。

「5.臨床検査」の場合は、大まかな「悪性腫瘍」(＝新生物・腫瘍NOS)を選択する。

病理診断 補足

例) 他施設で直腸癌と診断され化学療法を施行。
紹介状に生検にて「腺癌」と診断したとの記載あり。
自施設を紹介受診し、画像検査にて経過観察を行った。

腫瘍の種類	⑧側性		☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門	
		詳細分類	直腸	
	⑩病理診断	組織型・性状	腺癌	C20.9
診断情報	⑪診断施設		☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断	
	⑫治療施設		☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他	
	⑬診断根拠		☒ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明	

顕微鏡学的に診断された「腺癌」と判断ができるため、そのまま「腺癌」を選択。

4. エラーを減らすための パターン化できる 入力の組み合わせ

～ 全国がん登録みやぎの手引き【実践編】の内容から抜粋 ～

届出対象情報のパターンを、

全国がん登録みやぎの手引き【実践編】に例示。

- ① 自施設診断なし・自施設治療なし
- ② 自施設診断なし・自施設治療あり
- ③ 自施設診断あり・自施設治療なし
- ④ 自施設診断あり・自施設治療あり
- ⑤ 白血病・多発性骨髄腫等の場合



お手元にはない場合は、ダウンロードしてご利用ください。

https://www.miyagi-pho.jp/mcc/medical/bumon/registry_miyagi/qanda/index.html

パターン①

自施設診断なし

自施設治療なし

☐ ...パターン1で必ず選択する項目。

☐ ...症例に応じて診療録の内容から正しい情報を選択する項目。

腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明		
	⑨原発部位	大分類	盲腸・結腸、直腸、肛門	
		詳細分類	その他の結腸	
⑩病理診断	組織型・性状	悪性腫瘍	C18.9 8000/3	
診断情報	⑪診断施設	☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断		
	⑫治療施設	☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回 ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他		
		⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☒ 9. 不明	
		⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2019 年 5 月 11 日	
		⑮発見経緯	☐ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の検査で発見 ☐ 4. 創検発見 ☐ 8. その他 ☒ 9. 不明	
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☒ 499. 不明		
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 440. 遠隔転移 ☒ 660. 手術なし・術前治療後 ☐ 777. 該当		
初回治療	⑱外科的	⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☒ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明	
	㉒放射線療法	㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
		㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
		㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
		㉖その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	

⑪診断施設「2」を選択した場合、そのがんで初めて自施設を受診した日が診断日となる。

⑪診断施設「2」、⑫治療施設「4」の場合、他施設の診断情報を正確に把握するのは困難なことがあるため「499.不明」で構いません。

自施設で治療を行っていない場合は、⑰進展度・術後病理学的～㉕その他治療はすべてこのパターンになる。

この組み合わせでないとエラーになります



パターン③

自施設診断あり

自施設治療なし

☐ …パターン3で必ず選択する項目。

☐ …症例に応じて診療録の内容から正しい情報を選択する項目。

腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明
	⑨原発部位	大分類: 盲腸・結腸、直腸、肛門 詳細分類: 直腸 C20.9 組織型・性状: 腺癌 8140/3
	⑩病理診断	
診断情報	⑪診断施設	☒ 1. 自施設診断 ☐ 2. 他施設診断
	⑫治療施設	☒ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始 ☐ 4. 他施設で初回治療を終了 ☐ 8. その他
	⑬診断根拠	☒ 1. 原発巣の組織診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2019 年 2 月 17 日
	⑮発見経緯	☐ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4. 剖検発見 ☒ 8. その他 ☐ 9. 不明
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☒ 499. 不明
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☒ 660. 手術なし・術前治療後
初回治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☒ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
その他治療	㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明

自施設で診断したときは、検査結果が判明した日ではなく、検査施行日を診断日とする。
複数の検査が行われたときは、ページ下部の「⑭診断日の考え方（「1.自施設診断」の場合）」を参照。

自施設で治療を行っていない場合は、⑰進展度・術後病理学的～㉕その他治療はすべてこのパターンになる。

この組み合わせでないとエラーになります



原発部位がC420、C421の場合はパターン⑤を参照

パターン⑤

白血病、 多発性骨髄腫 等 の場合

※原発部位が
「C42.0 血液」
「C42.1 骨髄」

進展度 777 はこの時だけ
使用するコードです



☐ …パターン5で必ず選択する項目。

☐ …症例に応じて診療録の内容から正しい情報を選択する項目。

腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明
	⑨原発部位	大分類 詳細分類
	⑩病理診断	組織型・性状
診断情報	⑪診断施設	☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断
	⑫治療施設	☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他
	⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☒ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2019 年 5 月 10 日
	⑮発見経緯	☐ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4. 剖検発見 ☐ 8. その他 ☒ 9. 不明
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 440. 遠隔転移 ☒ 777. 該当せず ☐ 499. 不明
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 660. 手術なし・術前治療後 ☒ 777. 該当せず ☐ 499. 不明
初回治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☒ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
その他治療	㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明

白血病等の末梢血を検体とする検査の結果は、「3.細胞診」に含める。

血液や骨髄のがんの場合は必ず「777.該当せず」を選択する。

血液や骨髄のがんは手術が行われることはほとんどない。

パターン②

自施設診断なし

自施設治療あり

☐ …パターン 2 で必ず選択する項目。

☐ …症例に応じて診療録の内容から正しい情報を選択する項目。

腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明
	⑨原発部位	大分類: 胃、小腸 詳細分類: 胃体部 C16.2
	⑩病理診断	組織型・性状: 管状腺癌 8211/3
診断情報	⑪診断施設	☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断
	⑫治療施設	☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその ☒ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療 ☐ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他
	⑬診断根拠	☒ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2019 年 3 月 11 日
	⑮発見経緯	☐ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患 ☐ 4. 創傷発見 ☐ 8. その他 ☒ 9. 不明
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☒ 499. 不明
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☒ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 660. 手術なし・術前治療後
初回治療	⑱外科的	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲	☒ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☐ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	

他施設で診断され、自施設に来院している。

⑪診断施設「2」を選択した場合、そのがんで初めて自施設を受診した日が診断日となる。

⑱～⑳、㉒～㉕は、自施設で行った治療のみ「1」を選択する。

パターン④

自施設診断あり

自施設治療あり

- ☒ …パターン4で必ず選択する項目。
☐ …症例に応じて診療録の内容から正しい情報を選択する項目。

腫瘍の種類	⑧割性	☒ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☐ 7. 側性なし ☐ 9. 不明
	⑨原発部位	乳房
	⑩病理診断	組織型・性状
診断情報	⑪診断施設	☒ 1. 自施設診断 ☐ 2. 他施設診断
	⑫治療施設	☒ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設で初回治療を開始 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設で初回治療を終了後に、 ☐ 4. 他施設で初回治療を終了後に、 ☐ 8. その他
	⑬診断根拠	☒ 1. 原発巣の組織診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2019 年 3 月 19 日
	⑮発見経緯	☒ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4. 剖検発見 ☐ 8. その他 ☐ 9. 不明
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☒ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☐ 499. 不明
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☒ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 660. 手術なし・術前治療後 ☐ 777. 該当せず ☐ 499. 不明
初回治療	⑱外科的	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲	☒ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☐ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉓化学療法	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
	㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
⑳死亡日	☐ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 年 月 日	
備考	病理結果：Invasive ductal carcinoma, solid-tubular carcinoma	

⑨原発部位および⑩病理診断を選択する際、当てはまる選択肢がない場合は、最も近いと思われるものを選び、正確な情報を備考欄に入力する。

生検(組織診)などを行って診断したときは、検査結果が判明した日ではなく、検査施行日となる。複数の検査が行われたときは、4 ページ下部の「⑭診断日の考え方(「1.自施設診断」の場合)」を参照。

⑩病理診断で詳細な病理結果が選べない場合は、備考欄に入力する。



エラーに該当しなかった症例でも
当室からお問い合わせをする場合があります。

- システム上の警告(項目間で稀な組合せ)症例
- システムではチェックされないが、内容に矛盾のある症例
- 名寄せの作業で同一人物かどうか判断がつかない症例
- 同一人物のがん情報をまとめる作業(集約)で、判断がつかない症例 など

データの作業段階ごとに医療機関への問い合わせを行うため、年に何度もお問い合わせする場合があります。

届出されたデータを正確に登録・集計するため、確認と回答へのご協力をよろしくお願いいたします。

問合せ先

届出に関すること

宮城県がん登録室

電話：022-796-3624 受付時間 平日 9時から17時

E-mail: registry@miyagi-pho.jp

- ・個人情報メールで送らないでください。
- ・当室ホームページの「届出に役立つ資料」も参考にしてください。



オンラインシステムに関すること

国立がん研究センター

別紙「全国がん登録リンク集」の以下の項目を参照

◇ がん情報サービス（がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム）

